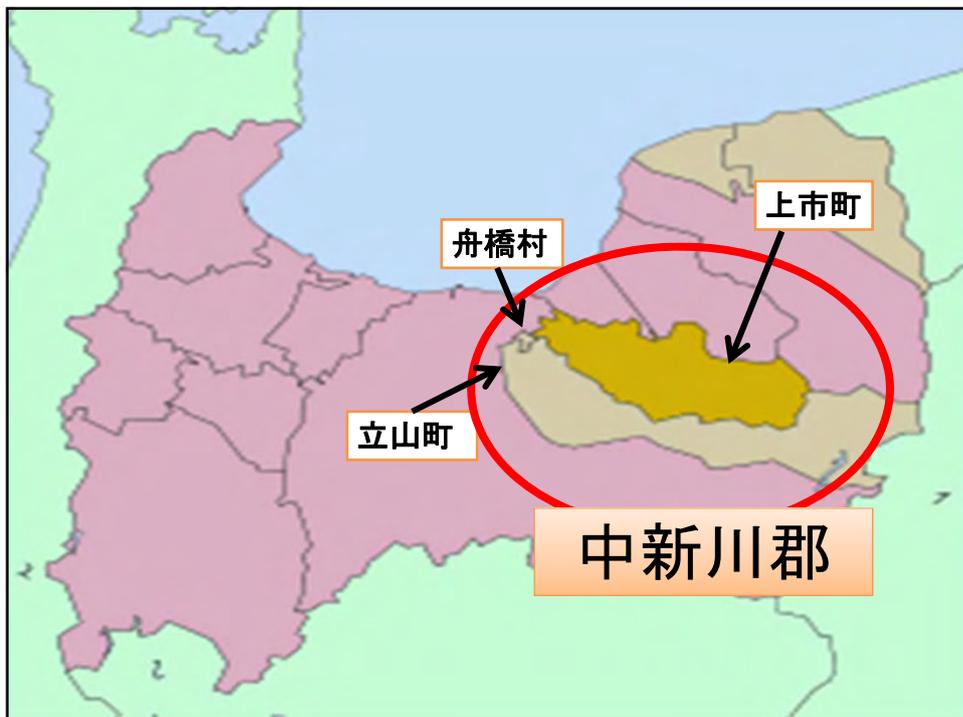


上市町における在宅医療・介護連携の推進
～平成24・25年度の取り組み～

平成25年1月26日(日)

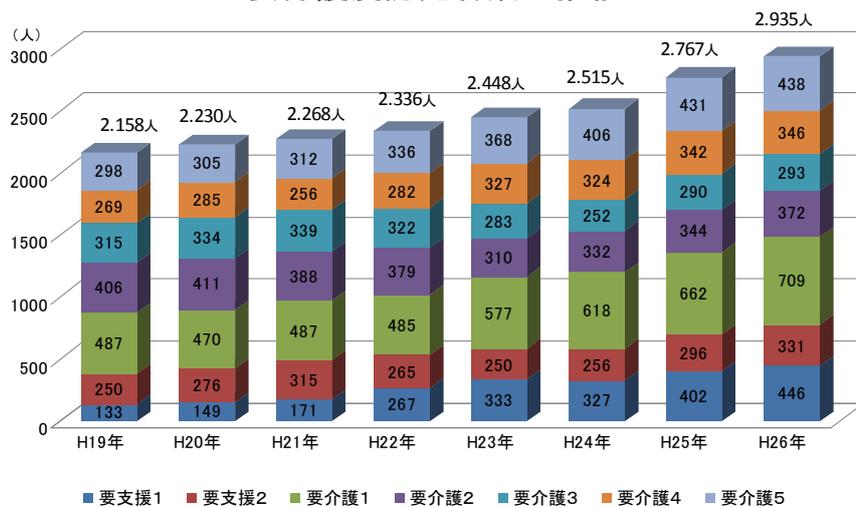


中新川郡の概要

	人口	世帯数	65歳以上	高齢化率	独居高齢者世帯
上市町	22,110	7,435	6,520	29.5 (30.8)	789
立山町	27,410	9,077	7,408	27.0 (28.0)	746
舟橋村	3,020	880	488	16.2 (17.1)	29
中新川郡計	52,540	17,392	14,416	27.4 (28.4)	1,564

資料：H24.4.1現在の住民基本台帳等(町村把握分)
* 高齢化率の下段は平成25.4月

要介護度認定者数の推移

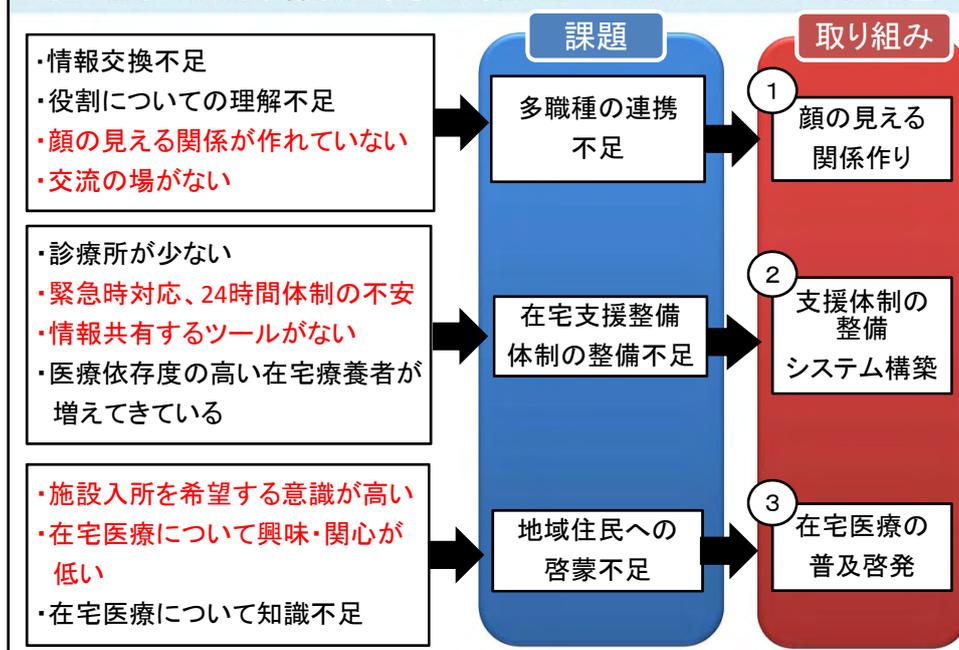


中新川地域の医療・福祉資源

(H25.12月末現在)

施設	施設数	施設	施設数
病院	2	診療所	20
歯科診療所	17	調剤薬局	18
訪問看護ステーション	2	居宅介護支援事業所	16
訪問介護支援事業所	9	通所介護	25
通所リハビリテーション	3	短期入所生活介護	6
短期入所療養介護	2	介護老人福祉施設	3
介護老人保健施設	2	地域密着型サービス事業所	8

在宅医療介護連携の推進にあたっての課題



平成24年度の取り組み

1 顔の見える関係作り

- 多職種合同研修会の開催
- 中新川郡在宅連携ガイド作成

2 在宅医療支援体制の整備・構築

- たてやまつるぎ在宅ネットワークの設立
- 在宅医療連携体制の構築

3 在宅医療の普及・啓発

- 在宅医療講演会(3回/年・・・各町村1回)
- 出前講座(生きがいサービス、老人会、区長会)
- 広報掲載、在宅通信配布、ホームページ掲載
- 在宅医療マップ作成

1 顔の見える関係作り

多職種合同研修会(7回)

H24 6月13日	講義:「在宅医療の推進」 講師:中部厚生センター所長 垣内先生 グループワーク:「在宅医療に対する各々の思い」
8月1日	事例検討会 「本人・家族が希望した在宅での看取りが実現した事例」
9月19日	情報交換会(コメディカルの方を対象とする) グループワーク:「在宅医療・介護の現状と多職種連携について」
12月19日	グループワーク:「在宅医療を担っていく私達の役割」
H25 1月11日	講義:「在宅医療・療養における効果的な連携の在り方」 講師:オレンジホームケアクリニック 紅谷先生
2月8日	事例検討会 「医療依存度の高い在宅療養患者の支援について」
3月22日	講義:「退院調整から在宅療養へ」 講師:在宅移行支援研究所 宇都宮先生

1 顔の見える関係作り

中新川在宅連携資源ガイド作成



2 在宅医療支援体制の整備・構築

たてやまつるぎ在宅ネットワークの設立

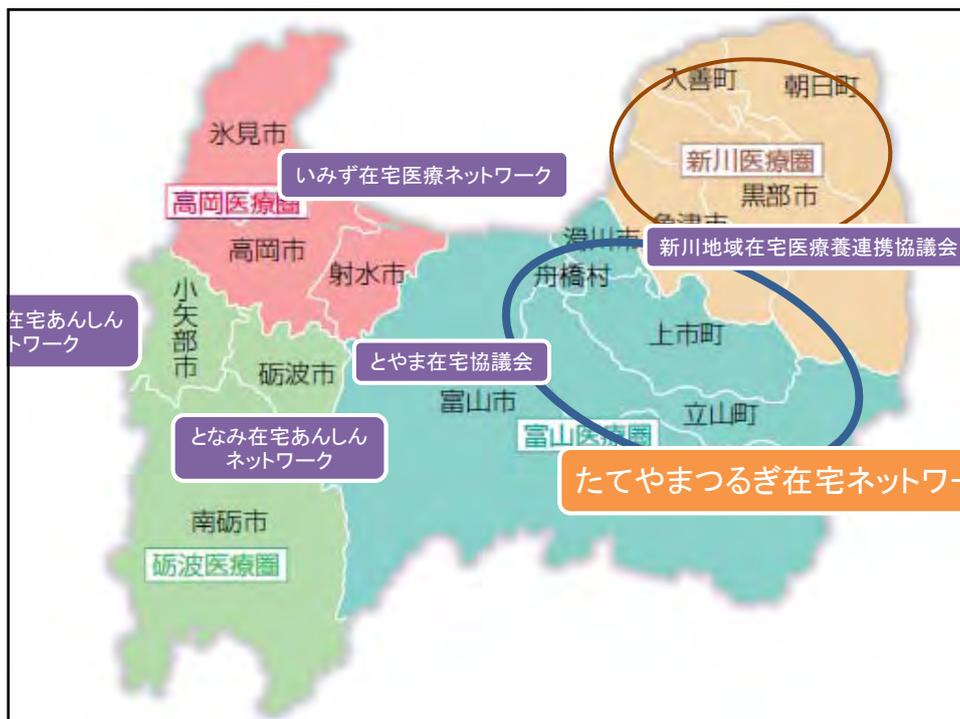
目的

病院、薬局、訪問看護ステーション、
介護サービス事業者などのチームに
よる効果的な支援を行う。

構成員

医師会、歯科医師会、
薬剤師会
総合病院
訪問看護ステーション
介護支援専門員協会
各地域包括支援センター
中部厚生センター





2 在宅医療支援体制の整備・構築

在宅医療連携体制の構築

- 診療所同士のチームづくり(主治医・副主治医制)
- 診療所と病院のネットワーク体制
 - ◆ 後方支援病院
 - ◆ コールセンター設置
- 中新川連携システムの構築(ITツール導入)

3 在宅医療の普及・啓発

在宅医療講演会
 寝たきりやがんになった時、あなたはどこで過ごしたいですか？
 自宅で受けられる医療と介護のサービスについて知り、
 自分らしい人生の最終章について考えてみませんか？ **参加無料**

第1回
 日時 9月30日(日) 午場 10時半～12時半
 会場 上野町医療福祉センター 2階研修室
 テーマ 在宅医療でできること
 内容
 ・講演「住み慣れた地域で安心して暮らすには」
 ・在宅医療におけるサービスの紹介

第2回
 日時 10月11日(木) 午後1時半～3時半
 会場 舟橋会館 研修室
 テーマ これからの医療と介護の連携
 内容
 ・講演「住み慣れた舟橋村で安心して暮らすには」
 ・在宅医療におけるサービスの紹介

第3回
 日時 11月8日(木) 午後7時～8時半
 会場 立山町公民館 大ホール
 テーマ 開業医とみんなで支える在宅医療
 内容
 ・講演「町の健康度ができること」
 ・在宅医療におけるサービスの紹介

主催：たてやまつるぎ在宅ネットワーク
 中野川町医師会・中野川町薬剤師会・青山町医師会・中野川支部
 中野川町介護福祉推進委員会・訪問看護ステーション（上野町・立山町）
 上野町・立山町・舟橋村

得られた効果

顔の見える関係作りができたことで

- ・情報交換、共有がしやすくなった
- ・医師、他機関との連携が図りやすくなった

在宅医療支援体制整備・構築を行ったことで

- ・多職種協働によるチーム医療の推進につながった

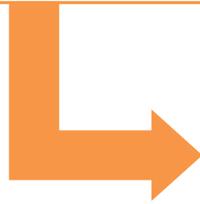
在宅医療の普及啓発活動を行なったことで

- ・興味・関心が高まった
- ・必要性が理解された

継続していくことが必要！

平成25年度地域包括ケアに向けての取り組み

24年度
福祉課在宅医療連携班
在宅医療拠点事業



25年度
福祉課地域包括支援センター
包括支援・任意事業

平成25年度地域包括ケアに向けての取り組み

住み慣れた地域で安心して過ごすために

1. たてやまつるぎ在宅ネットワーク ・パンフレット作成、配布 ・コールセンター運用開始 ・実務者会議	2. 中新川在宅連携システム ・システム管理
3. 地域ケア会議 ・事例検討会 ・情報交換会 ・CM連絡会	4. 介護支援専門員後方支援 ・合同サービス担当者会議
5. 講演会(住民向け) ・3回開催	6. 多職種合同研修会 ・5回開催
7. 出前講座 場所: 公民館、集会場 内容: 在宅医療、介護予防、認知症 講師: 開業医、包括支援センター職員	8. 介護予防教室 ・一次予防教室 ・二次予防教室